

# ICT活用授業みてある記

## 令和3年度 教育の情報化推進部会



令和3年6月25日(金)、「第1回教育の情報化推進部会」が開催されました。

この部会は、親組織である「仙台市 GIGA スクール推進協議会」での方針を受け、学校教育における具体的な取組を検討し、各学校に広く展開していくことを目的として設置されています。今年度は、錦ヶ丘小学校の菅原弘一校長先生を部会長に、東北学院大学の稲垣忠教授をアドバイザーに就任いただき、小学校教諭3名、中学校教諭3名、高等学校教諭2名を加えた計10名の委員で令和4年3月まで取組を進めます。

第1回の会議では、GIGA スクール元年でもあることから、市内のどの先生方も、「やってみたい。」「それなら自分もやれそう。」といった取組を、随時情報発信をしていくことを目標に定めました。具体的には、端末活用研修とタイアップしたオンラインによる実践報告、Web サイトによる情報発信を通して、短いスパンで多様な実践をきめ細かく「発信」し、市内各校の取組の参考になるようにしていきます。

以下は、7月に行った委員によるオンライン実践報告の内容です。

7月13日(火)  
佐竹直人先生(蒲町小)  
「端末の持ち帰り」(小学校編)

6年生から1年生へと順に持ち帰り日を決めて取り組みました。上学年から取り組んだ理由は、どのような課題が生じるかを把握するためです。

持ち帰りの際は、端末を絵本バッグに入れた後、ランドセルに入れて持ち帰らせました。

学校で取り組んでいることであれば、家でも同様に取り組めると思い、学校での取組状況や実態に応じて各学年で工夫し、家で取り組む課題を考えて実施しました。



7月16日(金)  
木村嘉彦先生(幸町中)  
「端末の持ち帰り」(中学校編)

「デジタル防災」と銘打ち、家庭と学校をつないだ学習に取り組むことを目的に持ち帰りの練習をしました。

各学年、取り組む学習については、事前に学校で連絡しておき、【Classroom】上で、課題の配付、回収を行いました。

1年生は、小学校の時に身に付けた操作スキルがとても役立ち、日々の学習もスムーズに行えています。小中の学びのつながりを感じました。



★9月以降も、各委員から「GIGA スクール端末活用研修」後、5分程度の時間で「オンライン実践報告」を行っていきます。

## 夏休みの間に準備を進めよう — 1人1台端末の本格運用に向けて —



いよいよ8月に学校のネットワーク工事が完了し、GIGAスクール端末を活用した授業の本格実施を迎えます。児童生徒が夏休み中の今こそ、参考情報を収集して学ぶチャンスです。夏休み明けの授業等における本格運用に備えましょう。

以下におすすめサイトを紹介します（クリックでサイトに移動します）。



### GIGAスクール端末を活用した授業について学びたい



[StuDX Style\(文科省\)](#)



[Google Workspace の活用 \(Google 社\)](#)



[学校における先端技術活用ガイドブック \(第1版\) \(文科省\)](#)



### 「個別最適な学び」と「協働的な学び」について学びたい



[「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 イメージ図 \(文科省\)](#)



[学習指導要領の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料 \(文科省\)](#)



[児童生徒の協働的な学びにおける ICT 活用 \(NITS オンライン講座\)](#)



### 「プログラミング教育」について学びたい



[プログラミング教育ポータル \(文科省\)](#)



[テキシコー \(NHK for School\) プログラミング的思考](#)



### 「STEAM 教育」について学びたい



[STEAM 教育等の教科横断的な学習の推進 \(文科省\)](#)



[STEAM Library \(経済産業省\)](#)

